まちの話題

豊岡

豊岡中核工業団地プレゼンセンター開設
わがまちの会社　再発見！

11月30日、豊岡中核工業団地プレゼンセンターが、神美台のスポーツ公園管理センターにオープンしました。

同団地企業協議会で作ったこのセンターには、18社の製品や事業紹介が趣向を凝らして並んでいます。

工業団地には、豊岡の地域経済を支える優良企業が数多く立地し、年間を通して工場見学者が訪れています。

協議会会長の渡邉（わたなべ）信和さんは、「この機会に一層の認知度アップを図り、人材確保や企業情報の発信に役立てたい。新たなビジネスチャンスも期待できます」と話していました。

▲テープカットをする関係者ら

城崎

城崎温泉でラッピングバスが運行開始
観光客の目を引く　動く麦わら細工！

11月23日、新しいラッピングを施した城崎温泉旅館協同組合の宿泊客送迎バスが運行を開始しました。今回のデザインは、城崎の伝統的工芸品「麦わら細工」で、城崎麦わら細工技術者の会会長の神谷（かみや）　勝（まさる）さんの監修により、こまや細かい小筋模様がバスの全面に描かれ、「むぎわら号」と名付けられました。

このバスは、特急などが到着する時刻にJR城崎温泉駅前で宿泊客を出迎え、組合加盟の旅館まで送ります。乗車した観光客らは「鮮やかで、気分も明るくなります」「城崎らしくていいですね」などと話していました。今後も城崎のイメージアップに一役買います。

▲「むぎわら号」に乗車する観光客ら

竹野

第23回キューピットマラソン大会
猫崎半島の愛称（キューピット）が名称の由来！

11月23日、たけのこうえん（竹野町須谷）を発着点とした第23回キューピットマラソン大会（竹野町体育協会主催）が開催され、小学生を中心とした129人が力走しました。

種目は、3キロの部、5キロの部、ジョギングの部があり、家族ぐるみや友達同士で参加する「親子や友達とのふれあいの場」という意味を持つ大会とも言えます。

同協会会長の木瀬堯后（たかみ）さんは「小さな大会だが、周辺市町からの参加者も多い。竹野地域のスポーツ団体の協力も大きい」と地域住民の協力で成り立っていると話します。

参加者は、さわやかな時間を過ごしました。

▲一斉にスタートを切る参加者たち

まちの情報などがありましたら、秘書広報課広報・交流係まで連絡ください。

日高

環境体験学習
自分たちで育てた大豆で豆腐を作ったよ！

12月4日、日高小学校（日高町岩中）で、3年生66人が、豆腐作りを体験しました。

これは、日高地区老人クラブの協力で、大豆の種まきから収穫までを自分たちで行い、その大豆で豆腐を作るという初めての試みでした。6班に分かれた児童らは、講師の説明を聞きながら、全員が体験できるよう譲り合って、手順どおりに作業を進めていきました。

中野聡女（さとめ）さんは「私たちが育てた大豆で豆腐が作れて楽しかった。鍋が焦げたけど、豆腐は上手にできました」と満足そうでした。

出来上がった豆腐は、その日のうちに、児童らのお腹に残らず納まりました。

▲大豆から豆腐を作る児童たち

出石

出石酒蔵（さかぐら）コンサート
まちづくりの原点・酒蔵 出石の風景の象徴です！

11月28日、出石酒造の酒蔵（出石町魚屋）で「出石酒蔵コンサート」が開催され、約200人の来場者でにぎわいました。

この酒蔵は、江戸時代の建物で、出石の町並みの中でも重要な建造物の1つです。土壁の色は「出石の色」と言われ、出石総合支所の庁舎や出石中学校の校舎にも使われています。

今年、市の伝統的建造物群保存地区の補助制度を利用して酒蔵の一部を修理。これを祝って、「出石城下町を活かす会」が酒蔵コンサートを7年ぶりに復活させました。会長の湊崎（みなとざき）康雄さんは「永楽館復原への熱い思いを、この酒蔵にも寄せてほしい」と話していました。

▲会場に響く市民プラザ沖縄文化研究会「とんとんみー」の演奏に酔いしれる来場者たち

但東

2009但東冬の光フェスタ
心温まるペットボトルの灯り

11月28日、「2009 但東冬の光フェスタ（ペットボトルツリー点灯式）」が但東総合支所前広場で開催されました。

これは、但東町商工会青年部が、ペットボトルを再利用してまちおこしをしようと企画したもので、今年で5回目。市内から集めたペットボトル約2千本を使った高さ約8メートルのツリー1基と約100本を使った高さ約2メートルのツリー10基が設置されました。

点灯後、約500発の花火が打ち上げられると、大きな歓声が上がりました。また、同商工会女性部により豚汁とおにぎりが振る舞われ、来場者は心も体も温まっていました。

▲ペットボトルツリーのライトアップは1月30日（午後5時～午前0時）まで